ＪＰ労組北陸退職者の会会報

第32号
2021年９月20日
発行責任者
近藤源一郎
編集責任者
串田信行

衆議院選・参議院選の勝利と会員拡大目標の達成、会員宅訪問活動の強化を確認

北陸地方退職者の会「第７回総会」（書面方式）の開催報告

北陸地方退職者の会「第７回総会」は、コロナ感染者の拡大状況を考慮し書面方式の開催といたしました。

総会運営は、連協代表24名(各連協８名×３)に総会議案・議決書を送付し、返信あった議決書を北陸地方幹事会において確認する形式で行いました。

７月17日に金沢勤労者プラザで開催された「第３回幹事会」において、議決結果について以下本誌左下のとおり確認いたしました。

２０２１年度は確認・決定された活動方針に基づき、①衆議院選挙そして参議院選挙において推薦候補者の勝利に総力を挙げる、②会員拡大に向け「総会時会員数×５％の新規加入」の目標を達成する、③コロナ禍における活動として会員宅訪問の強化に取り組む、こととします。会員のみなさんのご支援ご協力よろしくお願いいたします。

書面総会提出の意見・要望（要約）

・現役組織との情報共有が十分でない。
・活動方針に述べられている世話役活動が一番大事に思っています。
・会員拡大は対話があって初めて心が通じ合う。ただ拡大々々と言っても相手も人間、話し合うだけでは望み薄いと思う。心の通う相手を選んでの対話、見守りサポートが一番大事に思う。
・南加賀支部退職者の会としては、コロナ禍の中でできる少人数交流、組織拡大、世話役活動等を工夫し、会員との絆を高めていきたい。
・政治活動が全く書かれていない。この秋の衆議院選、少しでも議題に書いてほしかった。
・会員の健康管理を中心に取り組みを大切にしましょう。

議案等の議決

◎２０２１年度活動計画（案）　賛成23名、反対０名、棄権１名
◎運営細則改正（案）　賛成23名、反対０名、棄権１名
◎会計監査２名の選出
・会計監査・西野松一　信任23名、不信任０名、棄権１名
・会計監査・中西伊知郎　信任23名、不信任０名、棄権１名

（注）本年４月より、「組織慶弔安定会計」を北陸地方退職者の会に設置したことに伴う会計監査の選出です。

書面総会提出の意見・要望に対する幹事会の見解

・支部段階における現役組織との意思疎通が不足と認識しています。今後は意見交換の場を積極的に設けるよう指導します。

・退職者の会の活動の柱は、親睦と交流そして世話役活動と言えます。こうした活動を前進させながら、自信をもって会員拡大に取り組む組織づくりを目指していくこととします。

・各支部においてはコロナ感染対策を徹底し、少人数の集まりや会員宅訪問などを工夫して取り組んでいただくよう要請していきます。

・衆・参議院選挙は、安心安全な社会を築くため、衆院選での推薦候補と来年の参院選「しば慎一」組織内候補予定者の勝利に向け、全力で取り組むこととします。

・会員の健康管理については、みなさんからの意見も参考とし取り組みを企画検討していきます。

「ＪＰ労組は「立憲民主党支援を基本」に衆議院選挙への対応方針」

ＪＰ労組北陸（執行委員長・黒崎寿）は、衆議院選挙への対応方針として全国的に「立憲民主党を基本」に取り組むとの方針に沿って、北陸における小選挙区選挙および比例代表選挙について次のとおり候補者の推薦と政党名を決定し、北陸退職者の会に協力要請がありました。

ＪＰ労組北陸退職者の会（会長・近藤源一郎）は、9月16日、地方幹事会三役および連協会長会議を開催し、現役の会から要請のあった「当面する衆議院選挙方針」を確認し、会員のみなさんに周知しご協力いただくこととしました。

「北陸三県８選挙区で６名の推薦　比例代表選挙は「立憲民主党」」

衆議院小選挙区選挙については、富山１区は「西尾政英」、富山２区は「越川康晴」、富山３区は未定、石川１区は「荒井　淳」、石川２区は未定、石川３区は「近藤和也」、福井１区は「野田富久」、福井２区は「斉木武志」――を推薦決定しました。

また、比例代表選挙については「立憲民主党」をお願いすることとしました。

政治情勢は混とんとし、私たち年金生活者・高齢者にとって先行き不安定な情勢にあります。

「嘘、隠ぺい、改ざん」をしてきた前安倍晋三首相は仮病で退陣し、バトンタッチした菅義偉首相は敵前逃亡し政治空白が起きようとしています。被害者はいつも国民です。今、子や孫たちの未来のために目を覚まそう。

衆議院選挙勝利の勢いを「しば慎一」勝利に

私たちは、衆議院選挙で勝利し、その勢いを、来年7月予定の参議院選挙で自前の候補者・ＪＰ労組中央副執行委員長の『しば慎一』さんを政治の世界に送り込むことにつなげたいと思います。

是非、会員のみなさんの力を貸して下さい。

※同封しました「しば慎一後援会」入会関係器材を活用して下さい。

「しば慎一」参院選（比例代表）の勝利に向けて

後援会への加入と名前の浸透を

ＪＰ労組は今日までに４回、参議院選挙（比例代表）に組織内候補を擁立し、結果は３勝１敗となっています。

４回の選挙は「非拘束名簿式比例代表制」での戦いでした。この方式による各政党の議席数は政党名と個人名の得票数に応じて配分されます。当選者は個人名の得票数が多い順に決まります。過去の選挙結果は以下の通りです。

来夏の参院選は「立憲民主党」で立候補します。改選数は50名で、「しば慎一」を当選させるためには、個人名を浸透させ個人名で投票することが重要です。

会員の皆さまには家族・知人を含めた後援会加入者の拡大と「しば慎一」の名前の浸透に向け、ご協力よろしくお願い申し上げます。

家族・友人・知人に声掛けを

＜参議院選挙（比例代表）におけるＪＰ労組候補の獲得票等＞

選　挙	候 補 者	総獲得票	北陸合計	政党内順位	所属政党の当選数
第22回（2010年）	当　なんば奨二	144, 782票	3, 634票	当 第７位	民主党：16人
第23回（2013年）	落　さだみつ克之	120, 782票	3, 076票	落 第11位	民主党：７人
第24回（2016年）	当　なんば奨二	191, 823票	4, 195票	当 第６位	民進党：11人
第25回（2019年）	当　小沢まさひと	144, 751票	2, 387票	当 第３位	立憲民主党：８人

一口メモ「物忘れと認知症」

認知症の手前、正常との中間的な状態を軽度認知障害と言います。記憶障害はあるのですが、日常生活に支障をきたさないため、周囲も気づきにくい障害です。この段階で早くから医師に相談することがとても重要です。

「物忘れ」は加齢による脳の老化で、「認知症」は脳の病気です。「物忘れ」の具体的な例としては、①食事の内容を忘れる、②物忘れの自覚がある、③探し物を努力して見つけようとする、④時間・季節・場所がわかっている、⑤作り話はしない――など。

「認知症」の具体的な例として、①食事をしたことを忘れる、②物忘れの自覚がない、③自分が物をしまいこんだのに「誰かに盗られた」ということがある、④時間・季節・場所がわからなくなる、⑤しばしば作り話が見られる――など。

●会員からの相談

Q 私も「終活」をしてみたいけど、何をしたらいいのか？教えて下さい。

A まずは、アルバムの整理など、初めて見ましょう。

まずは、始めてみよう。

Q 終活とは？

A 終活とは、自分の死と向き合い、生前準備をすることです。

Q 終活はいつから始めるか

A 終活を始める時期は老後に限られるものではありませんが、何かのタイミングで取り掛かりましょう。

（1）定年を迎えと時
（2）配偶者や身近な人が亡くなった時
（3）大病を患った時
（4）思い立ったその日

Q 終活を行うメリット

A 終活を行うメリットとして、自分で身の回りのことが出来なくなる前に、自分の思いや考え方を記述・表明しておくことで安心です。

（1）自分や家族の不安が払しょくされる
（2）残された人生が充実し前向きになる

Q 終活の具体的なやり方

A
（1）生前整理を行う（アルバムの整理など）
（2）エンディングノートを作成
○プロフィール、○介護（誰に頼む）、○財産（自分の財産を整理し、目録を作成）、○医療・介護（自分の持病、薬を記述）、○葬儀・供養、○その他（家族へのメッセージなど）
（3）遺言書を作成
（4）お墓の準備をする
（5）葬儀の準備をする

法律なんでも相談開設中

ＪＰ労組北陸地方本部では、顧問弁護士と提携し、様々な法律に関する相談に対応しています。悩みごとのある退職者の会会員及び家族の方は、気軽にご相談下さい。

- 様々な相談事で法律に係る相談に対応します。
- 1回目の相談は無料です。（2回目から有料となります。）
- 秘密は、厳守します。
- 北陸地方本部経由で申し出るか、又は、法律事務所へ直接電話をかけJP労組**退職者の会会員**である旨を伝え、予約をとってから法律事務所でご相談下さい。なお、電話での相談も行っていますので顧問弁護士の了解を得てください。

連絡先は…

「菅 井 俊 明 法律事務所」まで

住所:金沢市尾張町1丁目2番2号　電話:076-261-6554
E-mail:sugai-t@kanazawa.nsk.ne.jp

悩んでいないで、まずは相談を!!